

### 市民のエコ意識の調査 エコ祭り、環ッハッハーンよしじま 2013



広島市地球温暖化対策地域協議会  
受講者名：中村長幸 菅宏

エコイベントへの参加率を向上させようと、中区・安佐南区の50世帯に、回収板を使って告知チラシを配布。チラシには、年代や来場方法などを調査するアンケートを貼付し、イベント当日に持参しても

らって、チラシによる啓発効果およびエコへの関心度を検証した。初の試みであり、アンケート持参者は少なかつたが、今後は小中学校の校内ポスター板などいろいろな方法でPRし、啓発地区も拡大していく予定だ。

### 知っとうやあゝ環境の大切さ クリーンな水からはじまる脱温暖化

布野の食と脱温暖化を考える会  
受講者名：森本美知江・丸亀英一・徳清真

「布野の食とまじり」において、温暖化の被害や気温上昇が引き起こす影響などをまとめたパネル展示とチラシ配

布、廃油回収ボックスの体験などを通じて、楽しみながら脱温暖化意識の向上を図った。併せて、布野地区公衛協と連携し、ごみの持ち帰りを呼びかけたところ、ごみつ出不いイベントとなり、ごみ問題への意識啓発にもつながった。

### 誰もが作れるグリーンカーテンのマニュアルづくり めげずに再チャレンジ!

福山北部脱温暖化地域協議会  
受講者名：田口甲斐・後藤勝行

グリーンカーテンの普及拡大および継続による脱温暖化の町づくりをめざすと、栽培テクニックや工夫した点など、さまざまな情報をアンケートで収集し、1冊のマニュアルにまとめ

た。受講生は、マニュアルを活用しながら栽培者を増やすとともに、栽培者同士が情報交流できるネットワークの構築を検討していきたい」と、展望を語った。

### ためしてみよう 節電エコライフ! 再認識! 節電作戦

府中市公衆衛生推進委員会連合会  
受講者名：荒木薫土・井森弘  
伊藤直己・五ノ陽子

1万人のエコチェック事業を活用し、9月の1カ月間、省エネに取り組み、電気使用量を前年同月と比較することで省エネ意識の向上を図った。推進委員486人で約7トンのCO2削減に成功した。

また、「エコチェックカード」の持参と引き換えに市の指定ごみ袋を配布したところ、昨年46.2%だった実践率が70.5%へUPするなど、今後も、実践率向上に向けた新たな工夫に期待したい。

## 新たに29人の地域リーダーが誕生 脱温暖化活動の更なる盛り上がり期待

1月17日、脱温暖化の地域リーダーである「地球温暖化防止活動推進員」を養成する研修が終了し、新たに29人が広島県知事から委嘱を受けた。この研修は、脱温暖化センターひろしまが主催し、前期と後期の2日間のカリキュラムで実施。前期研修において、地元で実践できる脱温暖化のための活動を企画した後、約3カ月の間に実践し、後期研修で成果を発表するというもの。各地で11件の企画が実践されたので紹介する。

### 電気・ガス・ガソリン使用量 見える化「キャンペーン」!

エコネットたけはら  
受講者名：手島小豆江・島本博幸

家庭で使用するエネルギー使用量トップ3を占める電気・ガス・ガソリン使用量を9〜11月の3カ月間記録できるシートを作成し、協力者56人に配布。記入用紙にシールを貼ることで視覚的に使用量の

推移を把握し、省エネ意識が高まるよう工夫した。協力者からは「目で見て確認でき、先月より減らしたいという気持ちになり、取り組みへの意欲が高まった」などの声がかかれた。

### 薪を使って温暖化防止 雑木林の中で自然体験をしよう!!



福山市広瀬学区公衆衛生推進協議会  
受講者名：世羅秀男・世羅悦子

楽しみながら里山への関心を高め、温暖化防止をPRしようと、雑木林から木を伐採し、薪を作り、安い薪の供給を行うとともに、薪ストーブの良さをアピールするほか、間伐体験や薪作り体験など

たので、今後は年間を通じたイベントの企画にも挑戦したいと意気込む。

### 我が家の家電調べ ネエーおしえて我が家の家電はいつまで?

エコ推進会  
受講者名：落岩敏江・奥田耐子・池永節子

家庭から多くのCO2が排出されているという現状を知ってもらい、省エネを考えるきっかけにしようという思いで「ふるさと祭」で家電調べのアンケートを実施。来場者17人から、家にある電化製品の数

を聞き取ったところ、冷蔵庫・冷凍庫を中心に、必要以上に保有しており、コンセントを差しっぱなしという家庭が多かった。今後は上手な家電の使い方など、情報提供できる場をつくっていききたいという。

### PETボトルのキャップ回収事業 ECONOMISE

受講者名：梶田谷正雄・久保川美知子

ごみの分別・再利用の普及を図ろうと、町内の自治会館3カ所にPETボトルのキャップ回収BOXを設置。回収板を使って、キャップの回収と分別の意義などを紹介したチラシを

### アイドリングためよー運動 脱温暖化ですばらしい環境づくり



脱温暖化プロジェクト  
受講者名：近藤洋三・近藤芳子・林亨

アイドリングストップによる脱温暖化の町づくりをめざすと、47事業所および6大型店へ協力要請するほか、イベントや店頭でチラシを配布し、広く啓発活動を展開した。また、町内3つの交差



点でのぼり旗や横断幕を使ったPRのほか、アイドリングストップ実践車をカウントする実態調査を実施。まだまだ浸透していないことが分かり、効果的な啓発方法の検討が課題だ。

### グリーンカーテン普及事業 「グリーンカーテン自慢」でエコライフ

大竹市公衆衛生推進協議会  
受講者名：佐々木善市・北保夫

平成26年度の新規事業として、グリーンカーテンをテーマに脱温暖化活動を盛り上げようと、公衛協専門部の会議で事業のねらいや今後の進め方等について意見交換を行い、事業実現に向けて検討

を重ねた。今後は、事業の周知やグリーンカーテンコンクールの実施に向けた準備、協力体制を整備するなど、企画が具現化することに期待したい。